



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

北大の《傾向と対策》 2020 年版



【対策のモットー】

良く耳にする〈**因果関係**〉こそが、〈北大の真髄〉です…

【問題構成とレベル】

得点的には、一問一答：短文論述 = 2 : 8

ハイレベルは出題されないので、用語集の**赤字(頻度4以上)**の徹底暗記

これ、知っている？のレベルの話です(^_^;) つまり… 知らないと終わり *知らない用語がないように！

【出題の種類】

1. とにかく、**同じものをマイナーチェンジ**して繰り返し出題する！
2. テーマ的には**5年以上前**の出題に類似することが多い
3. **制度や事件・改革の内容の説明とその結末**…的な出題が多い！
4. 分野としては、**社会経済史(農業・商業・貿易・土地など)**が超頻出です！
5. 戦後史も文化史もバランス良く出題されますが、基本ばかり

【出題のイメージは…？】

1. ○○○○が**成立した歴史的背景とその内容**について…？
2. ○○○○の**内容を書き、その結末**を…？
3. ○○○○になった**当時の時代背景**…？
4. ○○○○に△△△は**どう関与**しましたか？
5. ○○○○は**どのように変化**したかを…？
6. 当時の○○○○の**状況を説明**し…？
7. ○○○と○○○の**関係(比較して…)**について…？

【解答のイメージは…？】

30字・60字・90字がほとんどです。30字内に1~2個の歴史用語を入れましょう 15字で歴史用語1つ程度。

模範解答はあくまでも〈模範〉であり、そして、対策のための〈模範〉です *実際の受験生は書けない

【対策のイメージは…？】

ライティングのトレーニングを間違えてはダメ？ *書くことより人に話せることが重要！

因果関係文はどこにあるの？ それは…**教科書とテキスト**？

用語の説明はどこにある？ それは…**用語集**？

市販の問題集は使えないのか？ 使えます(笑) *適用する問題を選びなさい！

2019年

元首政と専制君主政の比較 60字

周の時代の封建制度の説明 60字

イスラーム教成立時期のメッカの状況 90字

東方貿易の説明 *フィレンツェ・南ドイツも絡める 90字

ゴシック建築様式の説明 75字

ドイツの帝国都市(自由都市)の説明 100字

『春』(ボッティチェリ)のルネサンス性 30字

ヘンリ8世の宗教改革における修道院の解散が社会的・経済的に与えた影響 90字

カルヴァンの主張する〈予定説〉の内容 70字

『夜景』の人物描写から読み取れる当時のオランダ社会の特徴 90字
茶の販売独占権をめぐる対立までの英
本国と植民地人の対立の歴史的背景 90字

マラッカ王国と明との関係 75字

ジャワ島で行われていた強制裁培制度の内容説明とその結末 60字・30字

ブラジルにおける奴隷制廃止後の労働力の変化について 30字

善隣外交の説明 75字

2018年

原始農耕文化 *農耕と牧畜 30字

エジプトの農業 *ナイル川の氾濫 60字

イクター制の内容と成立の背景 90字

エジプトの綿花栽培とムハンマド=アリー 90字

ソロンの改革と奴隷について 60字

ポエニ戦争とラティフンディア拡大の背景 80字

砂糖生産の拡大のヨーロッパ社会変化における背景 30字

新大陸やカリブ海で奴隷が使用された背景 60字

奴隷貿易とインドの綿花と産業革命の関係 100字

洋務運動の内容とその結末 90字

国共内戦の結末(国民は国民党ではなく共産党支持に?) 60字

朝鮮戦争に中国はどう関与した? 30字

大躍進運動の内容とその結末(グラフ読み取り?) 90字

1960年代前半の中国軍事開発 30字

2017年

ソロンの改革

スパルタの政治

フェニキア人の活躍

ローマ文化史の特色

ローマの共和政から帝政へ *コンスルと元首政

12世紀のルネサンス(ギリシア→イスラーム→イベリア・シチリア)

修道院と大学の特色

ペスト流行と中世の終焉

東方植民と農業革命

価格革命と重商主義

ポトシ銀山

エンコミエンダ制とアシエンダ制

イギリスのインド植民地化と鉄道の意義

19世紀以降の中露関係(条約関連)

清とモンゴルの支配

天安門事件とペレストロイカ

2016年

契丹の文化的特質

澶淵の盟の内容

徽宗の文化的な役割

宋代の貨幣の流通

宋代の農業的・社会的状況の変化(「蘇湖熟すれば〜」)

ゾロアスター教の特徴

ユグノー戦争の経緯

カピチュレーションの内容

ムガル帝国の衰退の経緯

フセイン=マクマホン協定の内容

五・四運動の経緯

国際連盟の抱えた問題

ルール占領の背景

ブロック経済の説明

2015年

ローマ専制君主によるキリスト教迫害の理由

ピピンの寄進の歴史的な背景

教会改革で批判された聖職に関する慣行

カノッサの屈辱の理由

教皇権衰退の過程

マグナ・カルタ承認に至る経緯

オスマン帝国に征服されるまでのブルガリア史

インドにおけるイギリスの2つの税制の内容

イギリスによるインド支配の再編成

清仏戦争の原因と結果

18~19世紀のイギリスの対清貿易の問題点

第1次モロッコ事件の国際的背景

WW I へのイタリアの関わり方

2014年

武帝の財政政策と外交政策の関連付け

三省六部の内容

イスラーム教成立以前のカーバ神殿を中心とした信仰の特徴

12世紀から始まる東南アジア・中央アジア・アフリカへのイスラーム拡大の背景

マムルーク朝がスンナ派イスラーム信仰の擁護者だった根拠

教皇庁がモンゴル帝国に使節を送った目的

ペストが中世末期に与えた社会経済的な影響

コロンブスが派遣された理由(スペインの状況)

三角貿易がヨーロッパとアフリカに及ぼした影響

永楽帝の南海遠征の説明

康熙帝の1680年代の清朝支配の具体的な内容

アメリカ独立宣言の基盤となったロックの思想

モンロー宣言の政治的な意図

太平天国の鎮圧に活躍した郷勇の具体的な内容

2013年

秦の焚書の目的

孝文帝が鮮卑人に推進した政策の内容

スンナ派とシーア派の基本的な相違

朱子学が説いた基本的な考え方(対外的な危機)

チャールズ1世の宗教政策

クロムウェルのアイルランド征服の理由

フロンドの乱の歴史的影響

清朝が思想・言論の弾圧を行わねばいけない基本的な理由

アメリカの南北対立点(経済的な側面)

対ソ干渉戦争においてソヴィエト政権が取った政治経済政策の特徴

スペイン内戦への諸外国の対応

2012年

春秋時代の「覇者」の説明

聖像問題がローマ＝カトリックとの対立をもたらした理由

十字軍が提唱された理由

スペインとネーデルラントとの対立の理由

遼の国家体制の特徴

オスマン帝国とそこに暮らす非ムスリムとの関係

カピチュレーションの説明

中国でキリスト教布教が進められた経緯(プロテスタント・ポルトガル)

WW I 後の中国への日本進出の経緯(ドイツ)

中国共産党と国民党との関係の変質(1921～1931)

アメリカがベトナムへ関与した経緯(ゴ＝ディン＝ジエム・ベトコン)

「偉大な社会」の内容

ベトナム戦争の推進がアメリカの社会・経済に与えた影響

「プラハの春」の経緯

2011年

元首政と専制君主政の比較

前漢時代の地方統治制度の特徴とその変遷

王莽政権の成立背景とその政策の特徴

カール戴冠の政治的・宗教的意義(ビザンツ帝国との関係)

イタリア商人の交易の内容と意義

マフディー派の抵抗運動の内容

イクター制の説明

スペイン征服者による鉱山開発のための労働力の調達の変遷

価格革命がヨーロッパ社会に与えた影響

「湖広熟すれば～」の経済的状況

「滅満興漢」が意味した内容

2010年

安史の乱が唐の国内政治・経済面に与えた影響

9～10世紀のトルキスタンのイスラーム化の過程(政治状況)

南宋の北方民族に対する政策

十字軍がヨーロッパ社会に与えた影響

大空位時代の内容

第2次ウィーン包囲がオスマン帝国に与えた影響

19世紀半ばのオーストリアの対外状況(普墺戦争)

英仏協商の内容

スエズ戦争に至るナセルの近代化と外交政策

マンデラ大統領誕生までの経緯(1980年代末以降)

2009年

10～15世紀の東アフリカ沿岸部におけるムスリム商人の活動とその文化的な影響

ガズナ朝滅亡～ムガル朝成立までのインドのムスリム王朝の歴史

フランドル地方を巡る英仏対立の理由

インカ帝国の統治機構と記録方法の特徴

大航海時代以前のアルプス以北で普及した農法と農村社会に与えた影響

三十年戦争がドイツ国内に与えた歴史的影響

17世紀に始まるアイルランド農民の貧困と差別の原因

七年戦争期の英仏植民地戦争について

18世紀中国の人口爆発を支えた食糧事情

8世紀後半～18世紀前半の地丁銀制への展開

キューバ危機の内容

2008年

ダレイオス1世の帝国統治システム

イオニア植民市を中心に発展した自然哲学の特徴

ペロポネソス戦争がスパルタ社会に与えた影響

紀元前 2 世紀前半のローマに生じた社会的・経済的な変化

オスマン朝のドイツの宗教改革に与えた影響

イタリア戦争が持った歴史的意義(勢力均衡・主権国家)

「マムルーク」の意味

16 世紀後半以降、スペインが大西洋方面に外交政策の重心を移した理由

サファヴィー朝とオスマン朝との対立の理由

1790～1804 年のハイチ革命の経緯と特徴

メスティーソ・ムラートの説明

下関条約の朝鮮の地位と日本が獲得した領土

戊戌の変法の結果とその後の清朝の政治改革の経過

キューバ革命政府の 1960 年代初めに採った政策

2007 年

キリスト教公認～国教化に至る経緯

前近代の東アジアにおける冊封体制について

16 世紀までの西アフリカにおけるイスラーム国家と社会の発展について

アヘン戦争以前のイギリスの三角貿易について

18 世紀末の英外交官が改善を要求した清朝の貿易制度の内容

WW I での新兵器と「総力戦」について

アメリカが国際連盟に加わらなかった理由

パグウォッシュ会議の目的

2006 年

周の封建制度について

科挙の成立～廃止までの流れ

マグナ・カルタ承認の経緯

イギリス絶対王政の最盛期の経済状況(囲い込み・毛織物工業・東インド会社)

クロムウェルの航海法について

清が北京に進出した経緯

クリミア戦争敗北がロシア国内に及ぼした社会的影響

イギリス介入以降のアフガニスタンの歴史の変遷

世界恐慌におけるアメリカ・ドイツの共通な失業者対策

中南米における反米運動に対処するために 1930 年代にアメリカが採用した政策

ブロック経済の特徴とそれが及ぼした歴史的な影響

恐慌期のソヴィエト経済の特徴

2005 年

ガンダーラ美術について

景教について

祆教について

カピチュレーションについて

聖職叙任権闘争について

金印勅書の内容

「帝国の死亡診断書」の理由について

イギリス本国と北アメリカ植民地との対立点について

神聖ローマ帝国消滅の経過

カリフォルニアの人口が急増した理由

西部への発展が引き起こした問題

2004 年

郡県制の内容

フランク王国が長く続いた理由

交通革命の具体的な内容

永楽帝の対外政策の内容とその結果

清の影響力が弱まったベトナムの事例

太平天国の乱のスローガンの内容

19 世紀に医学の進歩で死亡率が低下した具体的な事例

ケープ植民地での 19 世紀末の対立

オーストラリアへの移民が促進された要因と現地社会にもたらした影響

インド系・中国系移民に共通してみられる特徴

バルフォア宣言の内容

トルコ共和国の近代化政策

香港のイギリス支配が一時的に中断した理由(日本支配)

2003 年

前 2 世紀のシチリアの奴隷反乱の背景

紀伝体について

両税法の特質

軍管区制について

東南アジアにおけるイスラーム拡大について

明末清初の江南での農村の経済的状況

平和に関する布告の内容

2002 年

8世紀前半～半ばのフランク王国の政治的な変化(イスラームとの関係)

スペインの繁栄が長続きしなかった原因

ユトレヒト条約の内容

八旗について

清の 19 世紀以降の軍制の変化の原因と結果

典礼問題について

モンロー宣言の内容

中国門戸開放宣言の国際状況とアメリカ

パナマ運河の目的